

平成 3 1 年度の発掘調査計画について（案）

1 加曽利貝塚の解明のための発掘調査

(1) 調査方針

平成 2 9 年度から実施してきた南貝塚北東部の縄文時代晩期の調査は平成 3 1 年度をもって終了とする。次年度より出土品整理を行い、報告書を刊行する。

(2) 調査予定地点

南貝塚北東部（平成 3 0 年度調査範囲を継続）

(3) 発掘調査期間

平成 3 1 年 6 月～1 1 月

* 準備工（表土掘削・埋戻土除去） 5 月下旬～

* 撤去工（埋戻・園路復旧） 1 2 月上旬

(4) 発掘調査体制

千葉市埋蔵文化財調査センター 調査担当職員 2 名、調査員 2 名、調査補助員 1 2 名

* 平成 2 9 年度から発掘調査を実施してきた体制を継続し、埋蔵文化財調査センターの職員 2 名が発掘調査を担当する。

* 発掘調査期間中、非常勤の発掘調査員を雇用し、担当職員の業務を補助する。

* 普及（発掘体験）・広報活動は文化財課・加曽利貝塚博物館と連携して行う

(5) 発掘調査の内容

- ・未報告遺構 5（縄文時代晩期・住居跡）の調査－貝層の調査を含む
- ・溝状遺構（縄文時代晩期）の調査
- ・縄文時代晩期の他遺構の調査
- ・9 2 号人骨の調査－東側の貝層より新しい場合に限る
- ・未報告遺構 3・4（土坑）の調査－貝層の調査を含む
- ・晩期以前の貝層のサンプリング調査
- ・晩期以前の遺構の確認
- ・土壌分析
- ・土層断面剥ぎ取り

2 加曽利貝塚の整備に伴う調査

(1) 調査方針

加曽利貝塚の解明のための発掘調査と同じ担当者が併せて調査を行うこととし、調査期間が重複しないよう、1 2 月以降に遺構確認調査を実施する。

(2) 調査予定地点

No.	整備項目	事業面積	調査予定面積	備考
1	水飲み場・給排水設備新設	202 m ²	200 m ²	
2	歩行者用園路改修	640 m ²		
3	管理用道路整備	930 m ²		
4	四阿新設（2か所）	98 m ²		
5	便益施設新設	220 m ²	試掘	次年度確認調査
6	ベンチ新設（4か所）	16 m ²	試掘	
7	展示解説板新設（2基）	4 m ²	試掘	
計		2,110 m ²	200 m ²	

(3) 発掘調査期間

- ・ 試掘 平成31年5月（加曽利貝塚の解明のための発掘調査着手前）
- ・ 確認調査 平成31年12月～平成32年2月
(加曽利貝塚の解明のための発掘調査終了後)

(4) 発掘調査体制

千葉市埋蔵文化財調査センター 調査担当職員1名、調査補助員4名

* 11月まで加曽利貝塚の解明のための発掘調査を担当する職員のうち1名が引き続き、調査を担当する。

(5) 発掘調査の内容

・ 施設整備により掘削工事が発生する範囲について、予め試掘・遺構確認調査を実施し、遺構の検出状況により位置やルートを見直すなど成果を設計へ反映させ、史跡への影響を最小限に抑える。